

祝 全国大会出場 ～ライフル射撃部～

本校のライフル射撃部3年生、芦田太一君が全国大会に出場することが決まりました。7月28日から広島県で行われる全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に兵庫県の代表として出場します。

小規模校である氷上西高校に、「少人数でも行える特色ある部活動を」というねらいで平成25年度にライフル射撃同好会が創設され、翌26年度に正式にライフル射撃部となりました。平成29年度は1年生がたくさん入部し、現在は12名で活動しています。

普段の部活動では、射撃練習とともに体力を鍛えるためのランニング、筋力トレーニング、バランス感覚を鍛えるための体幹トレーニングなどに熱心に取り組んでいます。日頃の練習の成果を試合当日に発揮するためには、本番の緊張の中でも動じない集中力が必要です。

昨年度、3年生部員が引退した後は、一時部員が芦田君だけとなりましたが、一人で黙々と練習に励んでいる姿が印象的でした。6月18日に出場した近畿大会でも5位に入賞するなど、今までコツコツと努力を重ねてきた結果が今回の全国大会出場につながりました。

本校は、基本的な生活習慣やマナーを確立した「**規律のある学校**」、仲間と一緒に協力し頑張ることが楽しい「**落ち着いた学校**」、多様な学びをとおして学習意欲を高める「**学びと活気のある学校**」を目指しており、規律、落ち着いた学びと活気のどの観点からも「部活動の活性化」は本校の重要な課題の一つであると考えています。

全校生114名の小規模校ですので、サッカーや野球といった団体競技は選手層が薄くなり大規模校に比べると不利ですが、ライフル射撃のように少人数で実施できる競技では十分に生徒の力が発揮されます。

高校時代に何か熱中できるものを見つけてそれに打ち込むこと、高校時代にしかできない貴重な経験をとおして自分の得意分野を伸ばすこと、目標に向かって仲間と共に協力して頑張ることなど、部活動には部活動だからこそ体験できるたくさんの学びがあります。放課後、仲間と共に汗を流す時間があれば学校生活はより楽しいものになり、学校に笑顔が増えると確信しています。

(校長 高橋信之)

近畿大会(6/18)



右から二人目



左から三人目